

議会だより



やまきた 第170号

平成24年8月1日



全国でも珍しい三保小学校カヌークラブ(4～6年生)

目次

- 定例会(第2回) 2
- 臨時会(第3回) 2
- 審議結果 3
- 一般質問(8人) 4
- 来夢(こらむ) 12

カヌークラブから学ぶもの(三保小学校)



8月5日
みんなで尾崎好美選手を応援しましょう!

平成24年 第2回定例会

条例改正

へ山北町印鑑条例の改正へ
住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもので、全員賛成で可決しました。

渡辺議員 外国人登録原票の取扱いはどうなるのか。

町民税務課長 外国人登録法廃止に伴い法務省又は入国管理局に返すことになっています。

へ山北町国民健康保険税条例の改正へ

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもので、全員賛成で可決しました。

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ
1239万8千円を追加し、

平成24年第2回定例会が6月5日から7日までの3日間で開催されました。本会議では条例改正2件、補正予算1件、協議事項3件、工事請負契約1件が審議され、いずれも原案どおり全員賛成で可決されました。また、平成23年度予算の24年度への繰り越しなど報告2件がありました。

総額49億1239万8千円とするもので、歳入の主な

内容は、地域支え合い体制づくり事業472万6千円、コミュニティ助成事業300万円、三保ダム

周辺地域振興協力基金助成金400万円の増額計上。歳出は、コミュニティ

助成事業251万9千円、災害時要援護者支援事業

472万7千円、消防広域化事業731万3千円、オリンピックロンドン大会応援事業196万4千円など

です。

債務負担行為の追加補正は（仮）新塩沢橋新設2億7900万円です。

小栗議員（仮） 新塩沢橋新設は、国県の補助金が入らないのか。

都市整備課長 本年度分は間に合わないが、25年度分の社会資本整備交付金で対

応します。

渡辺議員（仮） 新塩沢橋は、スマートICを想定し計画されているのか。

政策秘書課長 町道として建設し、工事用道路に使用する考えですが、今のところ想定した計画ではありません。

原議員 3名の臨時職員の雇用は何故か。

企画財政課長 定住対策室で1名、職員の病休のため1名、会計課で1名計上させていただきました。

府川議員 オリンピック応援事業で横断幕の作成部数とパブリックビューイング400席の集客方法は。

生涯学習課長 新たに6枚計画しています。広報でお知らせし、尾崎好美後援会と連携して多くの皆様にご参加いただきます。

協議事項

へ消防事務の委託に関する協議へ

消防事務を小田原市へ委託することに関し同市と協議をするもので、全員賛成で可決しました。

原議員 山岳救助についての業務は引き継がれるか。

総務防災課長 消防業務のうち消防団に関わるもの、水利施設の設置、管理に関する事務以外は引き継がれます。

佐藤議員 小田原消防への委託経費は議会の議決や承認なくして納付するのか。

総務防災課長 経費は、議員も含めた調整組織の中で協議し、最終的に小田原市長と協議決定します。

へ足柄消防組合の解散に伴う財産処分へ

足柄消防組合の解散に伴い、当該組合が所有する財産について処分するもので、全員賛成で可決しました。

川村議員 移管される建物の維持管理費は、委託費等で計上されるのか。

企画財政課長 町にある分遣所やそこで動く自動車の修理費等の経費は1市5町の人口で案分し、委託料に含まれて支払います。

へ足柄消防組合の解散に伴う事務承継へ

足柄消防組合の解散に伴い、事務の承継団体を決定するにあたり協議するものです。

小栗議員 継承する事務の物品財産とは、事務用品・車両・装備品等全てか。

総務防災課長 消防団所有の物品以外全て含まれます。

工事請負契約

へ 中山間地域総合整備事業 業浅間山農道整備工事へ
契約金額1億1707万

5千円・榊山崎組（山北町岸 代表取締役 山崎將明）全員賛成で可決しました。

原議員 現在、ビニールシートが張つてある部分の施工方法は。

環境農林課長 ロックネットをかけ、法面を施工します。

報 告

へ平成23年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書へ

へ平成23年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告へ

第3回臨時会

（4月26日開催）

一般会計補正予算

山北駅駅舎活用として、切符の簡易委託販売を実施するための経費を予算措置するもので、全員賛成で可決しました。

専決処分

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い「山北町税条例の一部を改正する条例」、地方譲与税、地方交付税などの額の確定に伴い「平成 23 年度山北町一般会計補正予算（第 11 号）」及び国庫支出金や療養給付費等交付金などの歳入見込み並びに医療費の決定に伴い「平成 23 年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）」を専決処分したもので、全員賛成で可決しました。

渡辺議員 国民健康保険税の余剰金の内容は、**保険健康課長** 通常冬場に増える医療費が 23 年度は減額になったためです。

人事

〈山北町農業委員の推薦〉
平成 24 年 4 月 30 日任期満了に伴い、高橋宏和氏を議会推薦するもので、任期は平成 24 年 5 月 1 日から 3 年間、全員賛成で可決しました。

議案等審議の結果

※池谷莊次郎議長は、採決に加わりません。

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
平成 24 年度山北町一般会計補正予算（第 1 号）	4 月 26 日	原案可決 (賛成全員)	平成 24 年度山北町一般会計補正予算（第 2 号）	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)
専決処分の承認 (山北町税条例の一部を改正する条例の制定)	4 月 26 日	承認 (賛成全員)	平成 24 年度中山間地域総合整備事業浅間山農道整備工事請負契約の締結	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)
専決処分の承認 (平成 23 年度山北町一般会計補正予算（第 11 号）)	4 月 26 日	承認 (賛成全員)	消防事務の委託に関する協議	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)
専決処分の承認 (平成 23 年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第 4 号))	4 月 26 日	承認 (賛成全員)	足柄消防組合の解散に伴う財産処分	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)
山北町農業委員会委員の推薦	4 月 26 日	可決 (賛成全員)	足柄消防組合の解散に伴う事務承継	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)
山北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)	平成 23 年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	6 月 7 日	報告
山北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	6 月 6 日	原案可決 (賛成全員)	平成 23 年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告	6 月 7 日	報告



陸前高田市役所

県外行政視察（若手県）

震災の爪痕を目の当たりにして

平成 24 年 5 月 8 日（火）～ 9 日（水）

眼の前に広がる、広大な大地、その向こうには、1 年 2 か月前に、牙をむき、街を飲み込んだとはとても想像のつかない穏で青い海。ただ違うのは、コンクリートの基礎部分があちこちに点在し、もはや人の営みを感じることも出来ない異様な風景だった。

5 月の連休明け、新緑が目まぶしい岩手県陸前高田市などを議員全員で訪問

しました。視察に際しては、様々な議論がかわされましたが、少しでも早く復興してほしい、それには経済効果に少しでも寄与できれば、それも復興支援ではないかというところで個人の積立金を崩し、現地の生の様子を聞き肌で感じてこよう、そんな思いで、出かけることになりました。案内してくださった三陸鉄道の運転手飯田さんは、真っ黒な津波に飲み込まれ 100 メートル程流されたあと、ビルの樋（トヨ）を掴むことができ九死に一生を経験した方で、辛い体験を私たちに淡々と話しかせてくださいました。

陸前高田市から被災地を北上して行きましたが、内陸部には全く変化はなく、海側に近づくにつれ、様子が一变し、津波の爪痕が、はつきり残る浜辺には、選別済みの瓦礫の山が高く積みまれていました。この瓦礫は被災者の方にとっては、ただのゴミではなく歴史の刻み込まれたものであると思います。全国で協力しなければ早期の復興は無理ではないか、その場で処理出来ないものかなど現実を、しっかりと行政に訴えていかなければならないと責任の重さを実感しました。

自然災害は、どこで、どのような被害をもたらすか、全く見当がつかないだけに、常日頃から地域の絆を深め、自分の命は自分で守る心構えと準備、また、行政は事前の対策と、人的、物的、準備はもとより、想定外にも対応可能な柔軟な考え方で、状況に応じた決断力を持ち合わせたリーダーの育成が急務ではないか。被災地の復興は自分達の課題として真摯に向き合っていかなければならない大きな問題であると強く感じた視察でした。

石田照子

自然整備

石田照子 議員



Q 安全な登山道の確保を

A ミツバ岳ハイキングコースの認定に取り組みます



4月から始まった「ご用ききスペース」

者数は1万2千人程で、遭難事故のトップ原因は道迷いです

策にしていくな必要があると思います。

私達の水がめでもあり宝として、財産としてしっかり守り、育て、後世に引き継ぐために町の重点施策にしていくな必要があると思います。

■自然整備と保護

町土の90%を占める我が町の豊かな自然は、県民の憩いの場でもあり

回答 自己啓発、仕事を通じた育成、集合研修、県や上郡5町との職員交流を図るなど、いろいろな学習の機会を用意し、町職員としての使命と責任を自覚し、働くことに誇りと喜びを感じる。

回答 自己啓発、仕事を通じた育成、集合研修、県や上郡5町との職員交流を図るなど、いろいろな学習の機会を用意し、町職員としての使命と責任を自覚し、働くことに誇りと喜びを感じる。

質問 町民ニーズに応えた組織機構改革は、利用者の評判も上々だと思いますが、そこに携わる職員の意識改革と人材育成について伺います。

が、その対策は。

回答 パークレンジャーや自然公園指導員により点検整備情報の収集と提供が行われており、緊急性の高い事案には、迅速な対応が図られています。

質問 積極的な注意喚起と登山計画書の提出ししやすい環境づくりをすべきでは。

回答 案内板に連絡先を明記するなど、登山計画に代わるものや、パンフレットに危険なコースは避けていただく旨を掲載するなど、対策を考えたい。

質問 通称ミツバ岳では、昨年3件の遭難事故が発生し、2件は道迷いでした。1件の滑落死は道迷いでした。1件の滑落死は道迷いでした。1件の滑落死は道迷いでした。

回答 通称ミツバ岳から権現山二本杉峠、細川橋に至るコースをハイキングコースとして新たに認定していきたい。

回答 通称ミツバ岳から権現山二本杉峠、細川橋に至るコースをハイキングコースとして新たに認定していきたい。



登山道沿いに咲くみつまたの花

「一般質問」は、議員が行財政全般にわたって執行者（町長）に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争です。原稿は、質問者本人の原稿を尊重し、編集しています。

自主防災

川村俊治 議員



Q 自主防災組織での実践的な防災訓練を

A PCDAサイクルにより実践的な行動へ結びつけます

先の東日本大震災は各地に大きな被害をもたらしました。先般、被災地への視察研修を行い、防災に真剣に取り組んだ地区では人的被害を食い止めており、実践的な訓練の大切さを実感してきました。

毎年行われる町と連携した自主防災組織の防災訓練について質問します。

質問 災害の被害想定を明らかにし、地域の実情に合った、訓練の成果が得られる、実践的な訓練に誘導する必要があると思うがどうか。

回答 災害の被害想定のもとに、地域の実情に即した形で体験していくよう働きかけていきます。
質問 訓練後には、訓練成果をまとめ、課題を明らかにして次の訓練に反映できるようにして、自主防災組織のリーダーが変わっても引き継いでいくことが大切である。

回答 先進地の自主防災組織で



防災訓練での消火訓練

は、年間の防災目標や訓練の実施計画を定め、訓練の成果から課題を整理し※PCDAサイクルにより、より実践的な行動へ結びつけているので、情報を提供したい。

質問 昨年は雨で防災訓練が中止になった。大震災の後でもあり、意識を変えるべきではないか。

回答 清水地区では実施したが他地区では中止にした。訓練ができなくても図上演習も可能なので検討したい。

質問 自主防災組織の訓練内容

や方法は自主防災組織が決定すると突き放しているが、被害想定を示し訓練の方法を誘導すべきでないか。

回答 自然条件、住民の意識等が地域によって様々であり、地域・近隣で役割を分担しながら協力し合うことが望ましい。

町は今年度、地域防災計画の見直しを行うので、防災訓練のあり方を示した手引書の作成と自治会への配布を検討します。

質問 最近では洪水ハザードマップ（尺里川、滝沢川）で想定している雨量が普通に発生し



洪水ハザードマップで浸水想定区域に指定されている尺里川

ている。避難所に山北中学校を指定しているが、避難道路は浸水域であるので、これを見直すのは町か、自治会か。

回答 緊急点検を自治会に依頼したが、地域防災計画を見直す中で話し合いながら指定したい。

質問 訓練に際し、被害想定の情報提供と訓練の成果や課題抽出のための支援をする考えはあるか。

回答 想定していなかった複合災害が発生する可能性もあり、防災リーダーが変わっても引き継いでいけるよう情報の提供をしたい。

※PCDAサイクルとは、Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）の頭文字をとったマネジメントサイクルの一つで、P→D→C→A→P→D・・・を繰り返すことで、継続的に業務を改善していくものです。

防 災

瀬戸恵津子 議員



Q 災害時に支援の必要な方の避難訓練をすべき

A 個別計画を策定し 25 年度に実施します

回答 地域の支援者への情報提供は、避難支援を行うために

みはどうか。

質問 個人情報に対する取り組みはどうか。

は 25 年度になります。

を策定します。避難訓練の実施

定したので、今年度に個別計画

回答 22 年 9 月に全体計画を策

いのか。実施はいつになるのか。

と課題等もつかめないのではない

質問 災害時要援護者支援プラ

ンを早急に策定し、訓練しない

ます。



土砂災害避難訓練の様子

の検証や、避難経路上の障害物

等が積極的に参加し、災害時要

援護者の具体的な避難支援方策

回答 避難訓練には、地域住民

や災害時要援護者、避難支援者

にすべきではないのか。

質問 昨年の 6 月議会での質問

では、町の防災訓練とは別に行

うと言われた。避難訓練は、そ

れぞれ地域の課題に合ったもの

にすべきではないのか。

回答 避難訓練には、地域住民

や災害時要援護者、避難支援者

にすべきではないのか。

質問 昨年の 6 月議会での質問

では、町の防災訓練とは別に行

うと言われた。避難訓練は、そ

れぞれ地域の課題に合ったもの

にすべきではないのか。

回答 避難訓練には、地域住民

や災害時要援護者、避難支援者

にすべきではないのか。

質問 昨年の 6 月議会での質問

では、町の防災訓練とは別に行

うと言われた。避難訓練は、そ

れぞれ地域の課題に合ったもの

にすべきではないのか。

回答 避難訓練には、地域住民

や災害時要援護者、避難支援者

べきだが。

質問 健康増進目的と

ともに観光的に活用す

べきだが。

回答 河村城跡コース

から、できるだけ見え

るようにしていきたい。

質問 健康増進目的と

ともに観光的に活用す

べきだが。

回答 河村城跡コース

から、できるだけ見え

るようにしていきたい。

質問 健康増進目的と

ともに観光的に活用す

べきだが。

回答 河村城跡コース

から、できるだけ見え

るようにしていきたい。

質問 健康増進目的と

ともに観光的に活用す

べきだが。

回答 河村城跡コース

から、できるだけ見え

るようにしていきたい。

質問 健康増進目的と

ともに観光的に活用す

べきだが。

回答 河村城跡コース

から、できるだけ見え



セラピーロード「河村城跡コース」

回答 体験ツアーは、町外の方
が 8 割を超え、広く首都圏から
参加者をお迎えするので、商工
会、観光協会と連携を図り、観
光振興につなげていきたい。

また、参加者と直接触れ合う
立場のガイドがどのようにおも
てなしかが大事なポイント
ですので、研修と育成に力を入
れています。

まちづくり

原 憲司 議員



Q 危機管理体制と組織機構の見直し

A 関係機関との連携強化と職員の人材育成に取り組みます

■活断層地震対策と危機管理体制の充実を

質問 神縄・国府津―松田断層帯による活断層地震が発生すると大きな山津波が起これると予測されている。東日本大震災の教訓や最新の知見を踏まえ、山津波に対する町民の安全安心対策と関係機関や自衛隊への援助体制の整備は。

回答 直ちに山北町災害対策本部を設置し、危険区域の居住者に避難勧告や指示を行い、災害の状況に応じ県市町村への広域応援要請と自衛隊への災害派遣要請を行い、町民の生命財産を守ります。

質問 理事者・職員による危機管理体制の整備は。

回答 危機管理全体の対処方針を県と協議し、整備します。

質問 山津波の具体的な調査を行い、自主防災組織や個人の対応策の整備は。

回答 防災マップ等の見直しを行い、危険箇所は県と連携を密

にして住民に周知します。

質問 道路などが崩壊し、寸断される中で、理事者や職員の出勤体制は。

回答 職員行動マニュアルに基づき、三保・清水の一部地域の職員は三保支所へ、清水・静岡県地域の職員は清水支所へ、他の地域の職員は本庁舎へ参集させ、速やかに対策本部を設置します。



被災した陸前高田市役所庁舎

■働きがいのある職場づくりを

質問 職員の人材育成と職務の適材適所による働きがいのある職場づくりの推進策は。

回答 自己啓発、仕事を通じて育成、集合研修の3つを適切に

実施し、山北町職員としての使命と責任を自覚させる中で、職員自らが率先して町民サービスに努力し、公務員としての力量を高めることが、働きがいのある職場環境に繋がるものです。

質問 職員の職務に対する適材適所による人事配置は。

回答 職務の適材適所を優先的に配置していますが、職員自らが担当職に責任を持って取り組むよう指導します。

■商工・観光業の振興と推進を

質問 商工観光課の新設に伴う商工業の振興や観光資源の活用に対する方策は。

回答 課体制を身軽にし、町、商工会、観光協会が連携・協力して取り組み、山北ならではの美味しい特産品やお土産品の開発を行い、観光振興や地域振興を一層進展させます。

質問 山北駅周辺魅力づくり推進事業に係る商店街の

推進方法と地域振興策は。

回答 中堅所得者住宅の建設などによる定住人口の増加や商業施設の立地により山北駅前の活性化を図るとともに、商工会等と連携し、活力のある山北駅前商店街づくりに努めます。

質問 駅前で行っている朝市や

夕市に対する町の支援策は。
回答 商工会や観光協会等と連携し、集客力を更に高めるような検討を行います。



やまきた夕市

まちの活性化

渡辺良孝 議員



Q 新東名スマート IC の設置を

A 設置に向けて調査検討していきます



4月14日に開通した新東名高速道路

新東名高速道路の、スマート IC の調査研究を重ねてきているが、事業期限が迫ってきている。スマート IC に設置に向け総力を挙げ取り組むべきと考え質問します。

質問 スマート IC の設置でどのような効果を想定しているか。

回答 観光交流の増加、企業立地の促進や産業の活性化、また非常時の物流輸送や、災害時・緊急時の代替ルート・救急医療体制の充実、更に県西地域や、

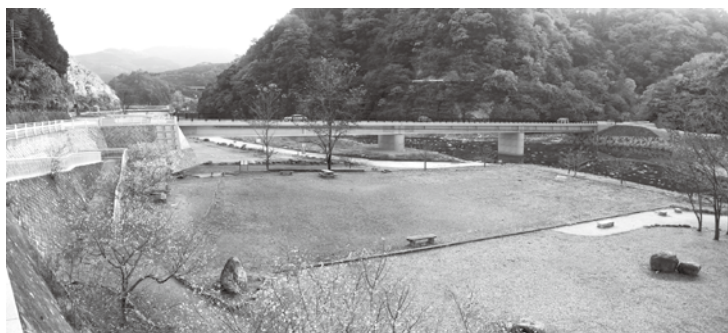
県境を越えての広域的活性化を期待する。

質問 現在までの進展と、今後の状況はどうか。

回答 平成 21 年度から国・県・町の関係機関により、概算事業費や、将来の交通予測、更に費用対便益の分析などの調査検討を行っている。平成 24 年度に入り、中日本高速道路から、設置予定場所に関係する本線工事の変更計画が示され、概算事業費を大きく削減できる可能性があるため、再度精査する必要がある。

質問 (仮)山北スマート IC の位置は、災害時の緊急輸送路として期待されていると思う。また、低コストの導入が可能のため、最近国では推進しているがどうか。

回答 国交省から、秦野・御殿場 IC の中間点の位置にあり、災害上から、必要性はあるとの意見は頂いている。また、平成 29 年度までの設置期限が、完成時



新塩沢橋(仮称)完成イメージ写真

の平成 32 年度まで延長され、引き続き協議していきます。

質問 スマート IC の関連ルートとなる新塩沢橋(仮称)建設の関係もあり、総力を挙げて取り組むべきであるがどうか。

回答 今後、総事業費を再度精査し、検討状況を見極めた上、実現の可能性が高まった段階で必要な組織の設置を検討していく考えである。

■オリンピック女子マラソン

尾崎好美選手出身の町として
質問 尾崎好美さんが、見事ロンドンオリンピックへの出場を決めた。このことは、町に大きな歴史を築く。当町は、丹沢湖マラソンや高校・実業団駅伝の会場として、対外的にも高く評価を受けている。

出場を記念してマラソン・ジョギングコースの設定を町主体でできないか。

回答 コースの設定については、関係団体に呼びかけて運動を展開する絶好の機会であることから、安全面を考慮し、体育協会とも十分協議をし、検討していきます。

※スマート IC は、高速道路の本線や SA・PA、バスストップから ETC 搭載車両に限定し、乗り降りができるインターチェンジ。簡易な料金所の設置により、低コストで導入できるメリットがある。

まちの活性化

瀬戸顯弘 議員



Q 駅舎利活用策と SL 列車運行は

A 持続可能な運営と関係機関へ働きかけます

質問 鉄道の町を生かしたまちづくりに取り組む中、山北駅の今後の利活用策とスケジュールは。

回答 まず、駅での切符販売を最優先に対応し、「NPO 情緒豊かなまちづくり」と「山北健鉄会」との協働により、切符の簡易委託販売がスタートできました。

質問 第二段階では、物品の販売や観光案内だけでなく、名水や足柄茶でのおもてなし、地域サロンの利用等民間だから出来る活用方法が考えられないか。

回答 観光案内や物産販売等を考えている。現在の駅舎は無償で借用できているが、観光案内や物産販売、おもてなし等のためには駅舎の改修が必要であり、建物の使用料を JR 東海に支払うことになる。早急に観光・商工団体を含めた検討組織を立ち上げ活用方法を検討します。今後、関係者との話し合いの中、町が必要な初期投資は行いが、



再開した山北駅での切符販売業務

運営費を含め、持続可能な運営方法を検討していきます。

質問 山北駅北側の開発事業推進の中、町の活性化、沿線の活性化の起爆剤として、町長が先導役を果たし SL 列車を運行したらどうか。

回答 最大の問題である経費の他、給水給炭、鉄橋等運行上の問題点、運転整備に係わる人的問題、排煙等の環境問題等運行するには解決すべき問題点が多く、現状では非常に難しいと考えている。特に SL 列車運行は神奈川、静岡両県にまたがる広

域事業となり、沿線市町が連携して取り組む必要があり、関係機関への働きかけを継続します。

■学校防災教育の見直しは

質問 学校の防災教育は 3・11 以降どのように見直したか。

回答 県の「学校における防災教育指導資料」を基に学校安全計画の見直しを行いました。また、教科・学級活動等を通じて

災害についての知識と判断力を身につけ、適切に行動できるよう指導しています。

質問 登下校途中での通学路の防災対策は。

回答 下校訓練や引渡訓練等を通じて、危険箇所を指摘し、対処の仕方を指導訓練していきます。地域や保護者を交えて通学路の危険な箇所の点検をしています。

質問 スクールバス運行時の防災マニュアルの見直しは。

回答 学校や教育委員会との緊急連絡手段として携帯電話で対



鉄道公園の SL 列車

応しているので、他の手法も検討していきます。

質問 避難所としての学校施設・体育館の耐震化は。

回答 建物の耐震補強工事は、岸幼稚園を除いて全部終了し、また窓ガラス等の飛散防止も済んでいる。学校施設の体育館は避難施設としての役割は非常に大きく、天井や照明器具等、非構造部材の点検を優先的に実施する予定です。体育館の照明器具の LED 化も検討中です。

事務の効率化

府川輝夫 議員



Q 情報システムの共同化と最適化計画の状況は

A 共同化を契機にシステム最適化計画を推進します

山北町の住民記録や税等の基幹業務を処理する情報システムは、住民サービスの向上と財政等負担の軽減を目的に、6月11日に神奈川県山北町情報システム共同事業組合のクラウドコンピューティングへ移行されます。しかしながら、移行は不具合なく安全に行う危機管理が重要であり、また、共同事業へ移行せず町独自で運行管理するシステムの対策も必要であります。システム共同化を機に、安全・簡素で効率的な行政事務を目的に、情報システム最適化計画の推進について質問します。

■システム移行時の危機管理

質問 本県独自のシステム共同事業への参加の評価と課題は。

回答 全国に先駆けて取り組む一方、短期間の移行処理により、データ確認等の不安や若干の不具合が発生しています。

質問 6月の重要な移行を控え、4月に機構改革と大規模な職員

異動は、危機意識の欠如では。
回答 各担当1人残す配慮をしたが、残せない課もありました。
質問 移行作業と異動の同時発生で、休日出勤や残業の増加しているの、休日出勤や残業は増加しているの、補正予算で対応させていたきたい。

■システム共同事業の利活用

質問 共同組合の支援を受け、本町の情報セキュリティポリシー（基本方針）や業務継続計画の策定に活用できないか。

回答 喫緊の課題とし、移行後に支援を受け策定する方向です。

質問 共同事業の今後の課題は。

回答 東日本大震災レベルのデータ保護や補完体制、業務継続の強化に向けた取り組みです。

質問 本町被災時には、他町システムの相互利用は可能か。

回答 移行作業完了後の次のステップでの検討と考えています。

質問 共同事業へ移行してない文書管理システムやメール等は、

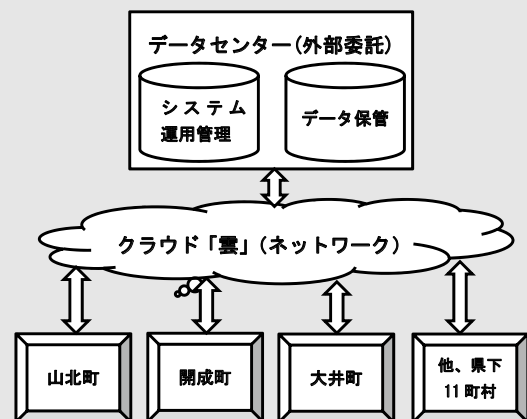
安全で利便性が高く費用が軽減できる共同事業への移行計画は。
回答 共同事業での対応として、次の更新までに最適化計画に反映するものと思います。

■システム最適化の計画

質問 最適なシステムの構築には、業務を分析・評価できるビジネスアナリスト（業務要求分析）の育成が必要ではないか。

回答 システム計画は、策定運用、評価、改善するPDCAサイクルにより、常に見直すことが重要と考え、この中心となる職員の育成が急務であるので、

情報システム共同利用のイメージ



◇情報システム共同化のクラウドコンピューティング（クラウドとは、雲の意味）の仕組みは、町が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンター（雲の向こう側）に委託して運用・管理し、通信回線を経由して複数の町村と一体となり情報システムを共同に集約して利用する仕組みです。

研修体制を充実します。

質問 町のシステム最適化計画の整備状況は。

回答 全体的なシステム最適化計画は策定されていませんが、システム共同化を契機に、既存システムと今後システム化すべき業務を精査・検証して、将来に向けた総合的な計画を作る必要があると考えます。

まちの活性化

藤原 浩 議員



Q 森林セラピー・トレイルランニングでまちの活性化を

A 関係団体と連携し充実を図ります



案内板

■森林セラピー事業

質問 セラピーガイドのマニュアルづくりについてどのように考えているか。

回答 運営協議会にガイド代表に参加していただき、十分意見を聞き、検討していきたい。

質問 今後民間事業者と協働することが重要だが、どのような考えか。

回答 先進地の状況を参考に事



セラピーロード「河村城跡コース」

業の定着事業を見ながら民間事業者へ移行する方法を考える。

■トレイルランニング

質問 トレイルランニングとは、ハイキングコースや林道など整備された道を走ること、山北の特長が生かされるスポーツです。雑誌等で紹介されたこともあり、健康福祉センターを拠点にランナーが集まり注目されています。そのような状況

にあります。そのような状況

で6月2日に西丹沢アドベンチャートレイルin山北が実施されたが、今後、観光施策の一環としていく考えはあるか。

回答 山北の魅力をアピールするイベントとして今後も継続しランナーに愛され定着するようできる限り支援したい。

■山北駅北側元気づくりプラン
定住人口の増加、山北駅周辺の活性化が目的とされているが、

いまだ具体的な施策が示されていない。活性化とは交通手段を充実し人の流れをつくることではないか。以上の視点から質問します。

質問 御殿場線を補完する上でコミュニティバス等の運行で実が図れないか。

回答 町内循環については充実していくが、新松田―山北間について、現在の町循環バスが飽和状態で空き時間がない。新しい交通手段についても、全町的に優先順位をつけた中で、考え

ていく。

質問 ふるさと交流センター等を活用し地域コミュニティの拠点作りを。

回答 具体的な需要を調べ検討していきたい。

質問 買い物客誘導のため駅周辺での駐車場の確保が出来ないか。

回答 駐車場が若干足りないことは認識しているが、町道一号線を使っていたり、地域とよく相談して確保したい。

質問 店舗の新規出店に際し費用助成や無利子の融資はできないか。

回答 商工中金や県の制度融資を活用していただきたい。町が税金を投入することは好ましくないと考えている。企業・個人の努力を出来る範囲で応援していく考えです。

議会の傍聴においで下さい

9 月定例会(予定)

9 月 5 日(水)～



庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

●議会ホームページ●

<http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

議会活動予定

10月	9月	8月
18 9 19 町議会議員県外視察 (山梨県北杜市ほか)	5 3 26 第3回定例会・本会議 足柄西部清掃組合議会	30 23 22 17 9 8 6 議員研修会 足柄消防組合議会 子ども議会 (小学生) 議会運営委員会 町村長・議長合同研修会 議会運営委員会 福祉教育常任委員会 郡町村議会定例議長会

議会活動報告

7月	6月	5月
25 23 26 県議長会議長行政視察 議会だより編集委員会 議員親和会総会 議会だより編集委員会 全国森林環境税創設議員促進連盟総会 議会だより編集委員会 福祉教育常任委員会 第4回臨時会・本会議 議会運営委員会 県議長会7月役員会・定期総会 議会だより編集委員会 2 議会だより編集委員会	29 27 21 12 小田原消防本部視察研修 郡議長会議会広報編集委員研修会 議会運営委員会 議員親和会役員会 全員協議会 第2回定例会・本会議 第2回定例会・本会議 福祉教育常任委員会 第2回定例会・本会議 5 第2回定例会・本会議	31 29 県議長会5月役員会・臨時総会 正副議長研修会 議長・副議長研修会 福祉教育常任委員会 議会運営委員会 常任委員会正副委員長研修会 あしがらブロック会議 郡町村議会議長会総会 総務環境常任委員会 議会のあり方検討委員会 拡大議会のあり方検討委員会 16



議会だより編集委員会
委員長 熊澤友子
副委員長 原 憲司
委員 渡辺良孝
藤原 浩
石田照子
府川輝夫

ころは、いったん湖の中に入ると、自分の力で岸までたどり着かなければならないという厳しさがあることです。誰に頼ることなく、自分自身の力が頼りのカヌー競技は、ゴールにたどり着いた時、十分な達成感を味わうことができます。しかし、今年は残念ながら豪雨のため、カヌーマラソンは中止となってしまいました。それでも、カヌークラブで培った「あきらめずにがんばり続ける力」は、これからの子どもたちの生活にきっと役立つことだろうと思っています。



カヌークラブが他のクラブと異なるところは、いったん湖の中に入ると、自分の力で岸までたどり着かなければならないという厳しさがあることです。誰に頼ることなく、自分自身の力が頼りのカヌー競技は、ゴールにたどり着いた時、十分な達成感を味わうことができます。しかし、今年は残念ながら豪雨のため、カヌーマラソンは中止となってしまいました。それでも、カヌークラブで培った「あきらめずにがんばり続ける力」は、これからの子どもたちの生活にきっと役立つことだろうと思っています。

来 夢
カヌークラブで学ぶもの
三保小学校長 加藤 陽一郎